

環境に関する取り組みに関する実行度評価表	
学校名	所沢市立三ヶ島小学校
環境目標：	地域と共に環境・資源を守る三ヶ島小学校
もっとも力を入れた環境活動（自由記述）	
活動名	
1 PTA・地域住民・子どもたちや学校が協働で行う環境美化活動 2 地域の菰谷八幡湿地における米づくり	
どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか	
・自分たちの環境を、自分たちの手で整えていくことを通して、自らが主体的に活動できるようになった。 ・米（農作物）の収穫体験や収穫したお米の地産地消を通して、環境保全の意識を高めることができた。	
活動内容	
1 PTA・地域住民・子どもたちや学校職員が協働で行う環境美化活動 9月にPTA・地域住民・子どもたちそして学校職員で校内環境を整えるため除草作業を行った。落葉を堆肥をつくるスペースに入れて、堆肥として出来上がったものは本校の学校農園「むくろじ農園」で使用している。子どもたちは、自然界における循環など資源循環を理解することにつながった。（普段のごみ分別とも絡めて活動を意識できた） また、子どもたちが様々な大人たちと協力して作業をすることで、人との関わり方や環境美化に努めることの良さを共有することができ社会や環境活動に貢献しているという意識を高めることができた。 2 地域の菰谷八幡湿地における米づくり 地域にある菰谷八幡湿地において本校5年生が「米作り」を行った。5月に田植えを行い、9月に稲刈りを行った。田植えも稲刈りも地域の方の協力もあり、子どもたちが田植えや稲刈りの大変さや面白さ、また喜びなど様々な体験、経験を積むことができた。 11月には収穫したもち米を使って地域の子どもたちも呼びかけ「餅つき」をした。臼と杵を使った餅つきに子どもたちは大喜びで、保護者も喜んで親子で餅つきをする姿が見られた。さらに来年1月には八幡湿地にある森で「落ち葉はき」を行う。こうした一連の活動を通し、環境保全の意識を高めることができた。 収穫したお米を学校に寄付していただき、5年生が家庭科の調理実習で使ったり、学校給食でいただいたりなど地産地消についても意識し、郷土の良さやよき環境を守ろうという気持ちが5年生以外にも広がっていったことを実感した。	
PTA・地域住民・子どもたち・学校除草作業	菰谷八幡湿地の活動
	